

南九州市新庁舎建設基本設計案に対する意見募集の実施結果と市の考え方

南九州市みんなのまちづくり参加条例施行規則に基づき、南九州市新庁舎建設基本設計案を公表し、広く市民の皆さまのご意見を伺うパブリックコメントを実施しました。

いただいたご意見とその意見に対する市の考え方を取りまとめましたので、次のとおり公表します。

なお、いただいた意見等は、趣旨を損なわない程度に要約させていただいております。

1 実施概要

募集期間 令和5年1月20日（金）から令和5年2月20日（月）まで

案の公表場所 市ホームページ、知覧庁舎（新庁舎建設推進課）、穎娃庁舎（穎娃支所地域振興係）、川辺庁舎（本館1階ロビー）

2 意見の提出方法、提出人数及び意見の件数

区分	提出人数（人）	意見件数（件）
持参	0	0
郵送	1	1
F A X	0	0
電子メール	1	1

3 ご意見の概要と市の考え方

No.	意見の要約	市の考え方（対応）
1	<p>資料を読み、すっきりとした庁舎になりそうで、期待しています。</p> <p>1つ質問したいのは、今社会では、新しく建てられる建造物には屋根に太陽光パネルを設置する方向で進められていると聞いていますが、この庁舎の場合、停電時の対策は、非常用発電機で十分でしょうか。</p>	<p>停電時は、非常用発電設備により、庁舎内の必要な箇所に電力供給し災害対策拠点機能を維持する計画としています。また3日間分の燃料を貯蔵できるオイルタンクを整備します。</p> <p>詳しくは、市ホームページに掲載しています基本設計書（案）概要版の9ページ「8 防災計画」の項目をご覧ください。</p>
2	<p>南九州市の将来人口予想を見ると人口減少には驚きます。</p> <p>私は今は新庁舎どころではないと思います。まず全力で少子化を止めてください。</p>	<p>市の人口減少に係る懸念はごもっともですが、市としましては、国家的な人口減少に備え、新庁舎に組織を集約し、スリムで効率的な体制を整備する必要があると考えます。その上で少子化対策も含めた全ての事業に対して効果的な市政運営を行う必要があります。</p> <p>また、新庁舎建設につきましては平成21年から検討を開始し、平成24、29年度及び令和3年度に市民検討委員会を設置し検討していただきました。</p> <p>市民の皆さまへの説明会は、令和3年8月と11月に延べ12か所において開催しております。</p> <p>このような経緯を経て令和4年3月議会において南九州市の事務所の位置を定める条例の一部を改正する条例の承認をいただき本事業を進めているところで</p> <p>す。</p>